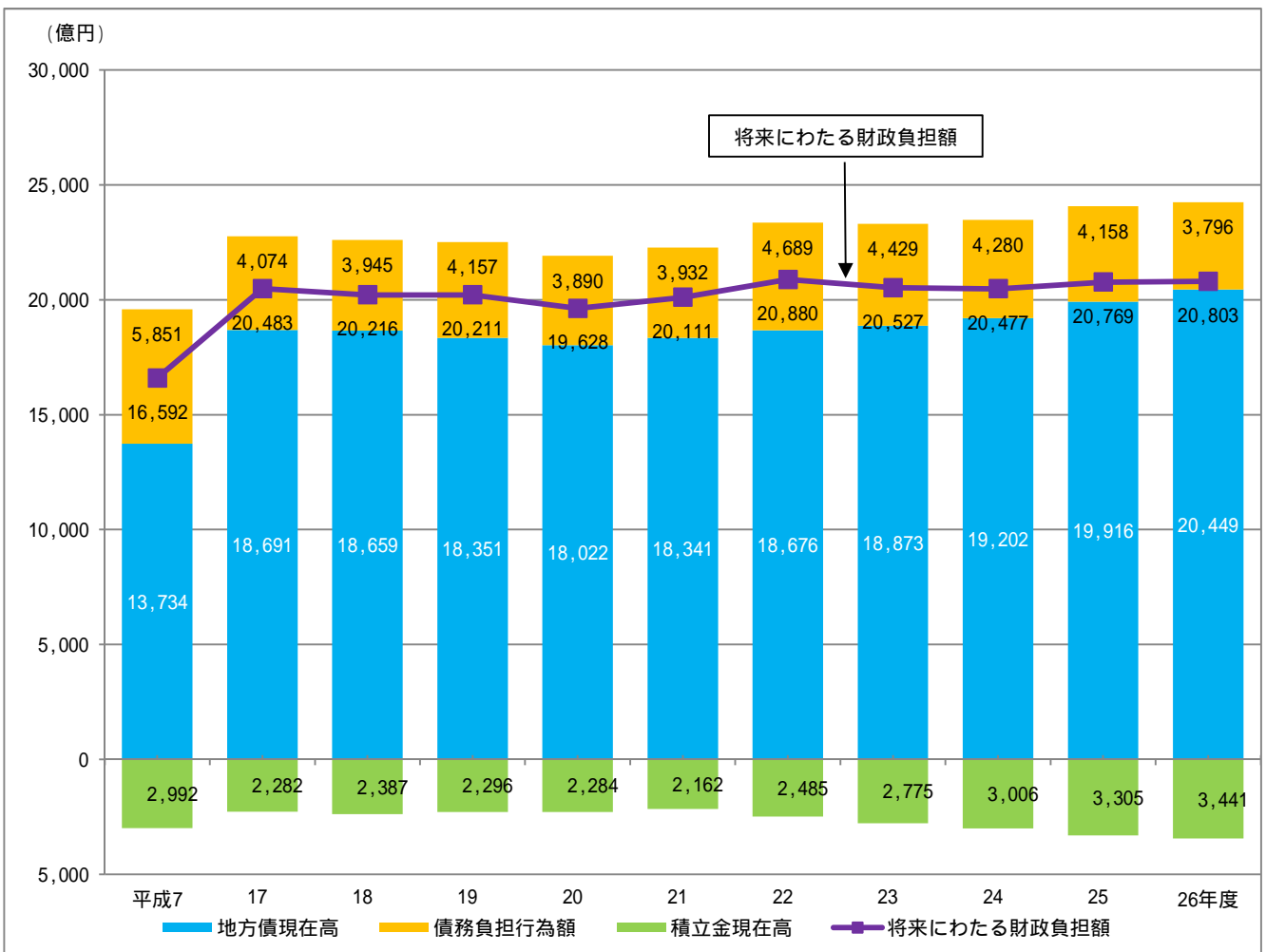
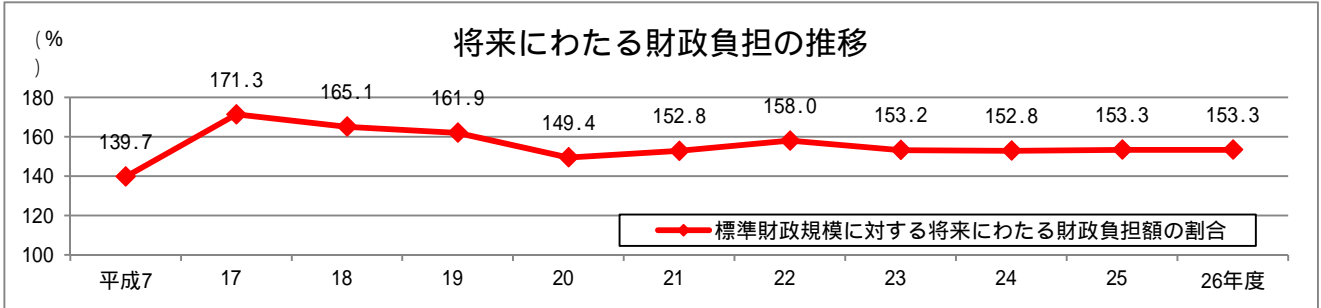


(3) 将来にわたる財政負担

平成26年度末における将来にわたる財政負担額()は、2兆803.4億円となり、前年度と比べて34.4億円増加(+0.2%)しましたが、依然として標準財政規模の約1.5倍もの負担をかかえており、今後も財政構造の硬直化が懸念されます。

将来にわたる財政負担額 = 地方債現在高 + 債務負担行為額 - 積立金現在高



- 用語解説 -

債務負担行為

歳出予算の金額、継続費の総額または繰越明許費の金額の範囲内におけるものを除くほか、地方公共団体が債務を負担する行為につき、その行為の内容を予算として定めておくもので、将来の支出を伴うものです。